

KINDAI KENCHIKU

September

Vol.75
2021

近代建築

9

特集 山岸建築設計事務所創業70周年



函館湯の川温泉 海と灯／ヒューイットリゾート

北海道函館市
設計・監理／エーエー アンド サン
施工／大成建設



南側外観



エントランスアプローチ

設計主旨

本ホテルは湯の川温泉から函館駅を結ぶ海沿いの漁火通りに面した位置にある。設計を行うにあたって事業主から「本計画は従来の好立地と思われていない、この土地でしかできないことに挑戦し、こだわり抜いたホテルを創る。結果的にはゲストに対し周辺ホテル群との明らかな差別化を促し、計画地ならではの特徴を活かしたホテルを創りたい」とリクエストがあった。これに応えるべく外観デザインは周辺ホテル群に見られない「白く光り輝く印象的な外装を有し、和のフォルムを現代的に取り込んだホテル」をテーマに掲げてデザインした。ファサードの中高層部にはPC板の上にセルフク



上／フロント・ロビー・ラウンジ 左下／2階食事処「月舟」 右下／1階食事処「雲波」

リーニング機能を施した艶有りの白い磁器質タイルを使用し、時の移ろいで刻々と変化する日射により壁面の輝き方が変わるようタイルの割付検討とモックアップ検証を重ねた。低層基壇部には和のフォルムを取り込むため、塗り壁をベースにした外壁に軽快な横書き金属屋根・大庇とダイナミックに連続する縦ルーバーを使用した。ファサードの中央部には津軽海峡のビューを最大限取り込むために連窓と垂直ラインを強調したアルミパネルでカーテンウォールを構成することでファサードに表情を与えている。本ホテルは海岸からの距離が近く、前面道路の車両の交通量が多い場所にあるため、耐塩害性、遮音性および断熱性に優れた樹脂製サッシを使用した。

内装デザインは北海道、函館の雄大な自然と和の安らぎを感じるデザインを目指した。特にエントランスロビーには大きな吹抜空間を利用して、長閑な風景をデザインした巨大な和紙の光障子とデザイン暖炉で空間をまとめる一方、日本の宿泊施設のアイテムとして屏風の床の間や行燈などを設えることにより、旅館のようにゲストを温かく迎える場としての雰囲気創りを心掛けた。また1階食事処「雲波」と2階食事処「月舟」はそれぞれ異なる和の雰囲気の中で北海道の豊かな恵みを味わえる食空間をデザインした。これらの和の空間とは全く異なる施設として地上40mの最上階の大浴場には景色と一体になるインフィニティの世界で津軽海峡を眺望できる開

放的な温泉空間をデザインした。客室は津軽海峡を眺望できる海側と市街地を流れる松倉川を眼下に渡島半島の山並みが眺望できる山側で各々の特徴に合わせたインテリアカラーを設定し、それぞれの景色に呼応した空間をデザインした。快適なホテルステイの中で雄大な自然と和の安らぎを感じていただけることを期待している。

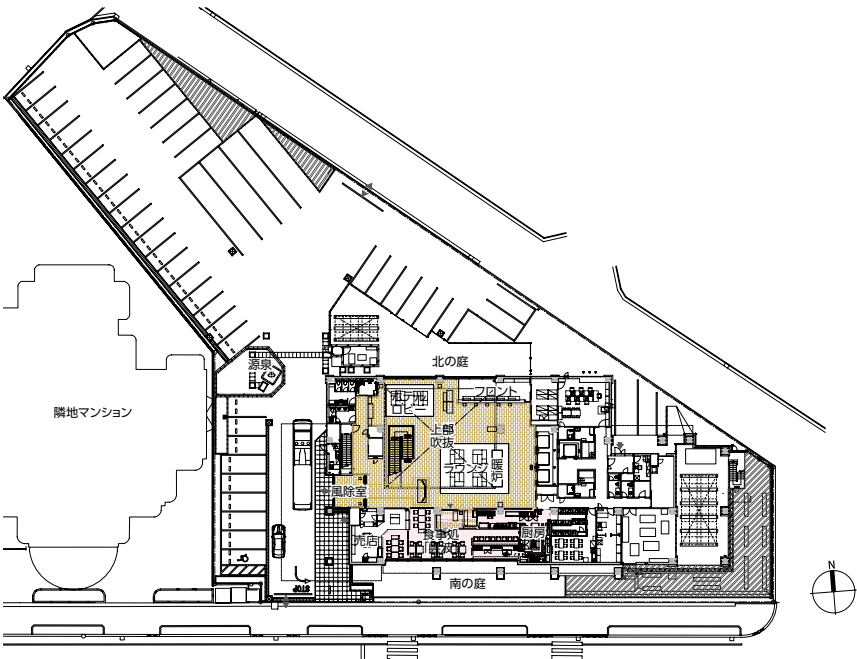
(小田部篤／エーエー アンド サン)



小田部 篤……こたべ あつし
1975年愛知県生まれ。2000年日本大学大学院理工学研究科建築学専攻修了。2005年エーエーアンドサン入社。現在、同社設計部担当部長



上／インフィニティバス 左下／大浴場 量風呂、壺湯 右下／貸切風呂



配置・1階平面図 縮尺1/1,000



左／ジュニアスイート 右上／ファミリールーム 右下／スタンダードツイン

施工計画

施工場所は函館空港に近く、上空を航空機が往来するため航空法の制限で最終節のクレーン作業は夜間に限定された。このため隣接するマンションへの影響を極力抑えることが重要なポイントとなった。

鉄骨建て方では使用する重機や鉄骨の節割を見直し作業の効率化を図った。また構造設計者と綿密に打ち合わせ、通常は床を打ってから取り付ける外壁のPC版を、鉄骨や仮設

の補強により先行して取り付けすることで風雨の影響を小さくし、工期短縮と品質向上につなげた。

作業に当たった専門工事業者は、地元の函館市だけではなく、札幌市から駆けつけた業者も多く、うまくコミュニケーションを取り連携を高めることに重点を置き、職長会の活動を活発に行い、現場の一体感を高めた。

工期途中で新型コロナウイルスが流行したため朝礼をリモート化したり、作業員用の休憩

所を1棟追加するなど対応に追われた。いろいろな制約があったが、周辺住民の方々とも良好な関係を築くことができ、施主、協力会社の方々のご協力で無事故無災害で無事に竣工することができた。

(菊地 学／大成建設)

菊地 学……きくち まなぶ
1970年生まれ。1993年北海道工業大学工学部建築工学科卒業、同年大成建設入社。札幌支店函館市湯川ホテル計画 作業所長

函館湯の川温泉 海と灯／ヒューイットリゾート データ
所在地 北海道函館市湯川町3-9-20
主要用途 ホテル
建築主 JA井リース建物株式会社
株式会社サンケイビル
設計・監理 エーエー アンド サン
担当／総括：小田部篤 建築：柴田高德、大西綾香
構造：齋藤 誠、伊東和廣 設備：狩野克広、松下留衣、服部光男
インテリアデザイン 石井建築事務所
担当／板倉裕一、中山裕太
FF&Eデザイン 石井建築事務所
担当／長谷川瞳、二村美里
施工 大成建設
担当／菊地 学、高塚一徳
電気・空調・衛生：田中大地
設計期間 2018年11月～2019年7月
工事期間 2019年8月～2021年6月
開業 2021年7月
【建築概要】
敷地面積 3,790.98㎡
建築面積 1418.77㎡
延床面積 11,632.81㎡
建ぺい率 37.42% (許容90%)
容積率 296.87% (許容500%)
構造規模 S造 地上12階
最高高さ 45.90m
軒高 45.16m
階高 1階：4.8m 2階：4.4m 3～10階：3.3m
11階：3.4m 12階：4.1m
天井高さ 客室：2.2～2.6m ロビー：3.0～7.8m
食事処：3.0～3.3m

主なスパン 8.0m×8.7m
道路幅員 南側：25.0m 北側：8.0m 西側：7.0m
駐車台数 89台
地域地区 商業地域
客室数 221室
スタンダードダブル (15.0㎡) ×18室、スタンダードツイン (27.0㎡) ×72室、スーペリアツイン (27.0㎡) ×44室、ファミリールーム (36.0㎡) ×78室、ジュニアスイート (55.0㎡) ×8室、ユニバーサルルーム (27.0㎡) ×1室
【設備概要】
電気設備 受電方式／地上キュービクル高圧1回線 6.6kV受電 変圧器容量／1φ200kVA×3、3φ500kVA×2 予備電源／非常用ディーゼル発電機200kVA
空調設備 空調方式／空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン＋外気処理パッケージエアコン 熱源／電気式、ガス式
衛生設備 給水／受水槽＋加圧給水方式 給湯／ガスマルチ給湯機、電気式個別温水器 排水／建物内外汚水・雑排水合流方式、屋外雨水・雑排水分流方式、温泉排水分流
防災設備 消火／屋内消火栓設備、連結送水管設備、スプリンクラー設備、消火器 排煙／自然排煙
昇降機 兼用 (15人乗) ×3基、サービス用×1基
特殊設備 12階に大浴場・露天風呂 (循環ろ過設備)
【主な外部仕上げ】
屋根 改質アスファルト露出防水
外壁 PC板の上、45二丁磁器質タイル模様貼込込みマイクロガード加工 押出成形セメント板の上、磁器質タイル貼・御影石張・ウレタン樹脂塗装、アルミ化粧パネル
建具 樹脂サッシ、アルミサッシ、ステンレスサッシ、スチールサッシ

外構 磁器質タイル
【主な内部仕上げ】
エントランスホール 床／磁器質タイル 壁／磁器質タイル、ビニルクロス 天井／ビニルクロス
客室 床／タイルカーペット、塩ビタイル 壁・天井／ビニルクロス、

撮影／クリエイティブアイズ 川村剛弘

協力会社			
墨出し工事	青山墨出建測	とび・土工・コンクリート工事	小鍛冶組
鉄骨工事	三水鐵工	鉄骨階段工事	横森製作所
鉄骨超音波探傷検査	札幌インスペクション	鉄筋工事	小室鉄筋工業
型枠工事	マロケン	クレーン工事	杉本運輸
クレーン工事	巴クレーン運輸	コンクリート圧送工事	エスケイコンクリートポンプ
デッキ工事	藤光鋼材	屋根工事	元旦ビューティ工業
金属工事	兼丸丸浅野鉄工所	金属工事	郷業
PCカーテンウォール工事	三咲プレコンシステム	アルミ製建具工事	北海道不二サッシ
鋼製建具工事	三和シャッター工業	耐火被覆工事	ナイガイ
押出成形セメント板	ノザワ	塗装工事	伊藤塗装工部
内装仕上げ工事	アラゼン	美備業務・警備業務・ビル管理業務	名美興業